

2014 年秋季講演会「若手セミナー」 開催報告



男女共同参画委員会

伊藤浩子^{※1}, 安元 純^{※2}, 藪崎志穂^{※3}

野原慎太郎^{※4}, 吉岡真弓^{※5}, 中屋眞司^{※6}

1. はじめに

平成 26 年 11 月 6 日（木）～8 日（土）熊本県民交流館パレアにて開催された秋季講演会において、会期初日（6 日）の午前中（10：00～12：00）を利用して若手セミナーを開催した。今回の若手セミナーは若手支援策の一環として開催したもので、地下水をとりまく昨今の情勢やトピックスについて 2 名の講演者から話題提供をいただいた。当日は若手のみならず、中堅以上の研究者・技術者の皆様にも多数ご参加いただき、参加者は約 45 名と盛会であった。はじめに、男女共同参画委員会の中屋委員長より開会挨拶を行い、引き続き司会進行を安元 純委員（琉球大学）が務めた。

2. 講演内容について

大成建設株式会社技術センターの今村聡氏より「企業の地下水に関する取り組み」と題して話題提供をいただいた。今村氏はこれまで長い間、土壌・地下水汚染に関する研究および実務に携わってこられた。若い頃に社会情勢を敏感に察知してニーズを先取りし、先行投資的に研究に取り組んでこられた姿勢が数年後に開花したというご自身の経験談は、『社会の中で自分が仕事を担っていく』ことに対して、非常に前向きになれるモデルケースのようなお話であったと思う。また最近の地下水に関連する具体的な業務内容についてもご紹介いただいた。困難な現場対応の事例、発展途上の技術、今後の新しい分野開発など、いずれも実務に基づく説得力のある内容であった。現在自分が取り組んでいる研究内容がどのように社会に活かされていくのか、ということを考える良い契機となったのではなかろうか。

次に総合地球環境学研究所の谷口真人教授から「最新の地下水事情」と題して話題提供をいただいた。まず研究を進めるうえでは、対象エリア（一般論 or 地域性）・アプローチの手法（演繹法 or 帰納法）・研究体制（少人数 or 大人数）など複数の要素の組み合わせにより、様々な取り組み方があることをご自身の経験をもとに紹介いただいた。少人数でローカルな研究を進めてこられた若い頃から、現在のように国際プロジェクトに参画されるようになるまでの谷口先生の軌跡は、特に若手の皆様にとって非常に参考になる内容であったと思われる。個人的には、同分野の研究者と単に競うのではなく協調しながら互いに切磋琢磨していくという姿勢があつてこそ、国際的なプロジェクトの中でご自身の力を発揮してこられたのだということ強く感じた。また異分野との交流により、今までとは違う

※1 地域 地盤 環境 研究所
※4 電力中央研究所

※2 琉球大学
※5 産業技術総合研究所

※3 福島大学
※6 信州大学

新しい視点に気づくことの重要性についてもお話いただいた。

最後の質疑応答では、お二人の講演者から若手に対する率直なアドバイスをいただき、和やかな雰囲気での閉会した。

3. 最後に

男女共同参画委員会では、今後も引き続き若手支援策に関する検討を進めていく予定です。今回の若手セミナーに参加されなかった方からのご意見も、ぜひ今後の参考とさせていただきますと考えておりますので、忌憚ないご意見を下記メールアドレスまでお寄せください。また本委員会では若手メーリングリストを設けています。現在は主に若手に向けたイベント（交流会やセミナー）の案内などに利用していますが、今後は更に、若手同士が気軽に質問や情報交換ができるようなコミュニティとしての活用を目指していきたいと考えています。本メーリングリストの登録には年齢制限は設けておりませんので、ご興味のある方は下記アドレスまでご連絡ください。皆様の積極的な活用をぜひお願い致します。また、男女共同参画委員も随時募集しておりますので、特に若手の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

最後に、今回の若手セミナーにご参加いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

【連絡先：男女共同参画委員会 宛】

japh_eps_member@googlegroups.com

(件名や文面に若手メーリングリスト加入や委員会参加希望の旨を明記してください)



当日の若手セミナーの様子